

特定非営利活動法人地域の未来・志援センター 平成19年度 事業報告書

1. 事業実施の方針

特定非営利活動法人地域の未来・志援センターは、持続可能な社会に向けた地域づくりを行うNPO、企業、行政、地域に対して、戦略的、総合的な地域デザインのサポートに関する事業を行い、環境活動の社会化、市民社会の実現を目指し、市民ひとりひとりが価値観（意志）を持った持続可能で豊かな暮らしの実現に寄与することを目的として、下記の事業を計画実施した。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、本年度は以下について実施した。

市民が持続可能で豊かな暮らしを実現するための地域デザインに関する事業（以降、「地域デザイン事業」と表記）

持続可能な社会に向けた地域づくりを行うNPO、企業、行政、地域が不足している財源・資源の開発・提供に関する事業（以降、「財源・資源の開発事業」と表記）

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域が抱えている様々な課題に対して、お互いに支援し合えるネットワークづくりを支援・促進する事業（以降、「ネットワーク支援事業」と表記）

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域の情報を収集し提供サービスを行う事業（以降、「情報提供事業」と表記）

2. 事業の実施に関する事項

(ア) 特定非営利活動に係る事業

下記事業は、地球環境基金の委託事業「環境保全に関する協働活動推進モデル事業・愛三岐地区」及びセブン-イレブンみどりの基金と締結した「東海（愛知・三重・岐阜）地域における市民環境活動支援のための協定書」に基づく活動の一環として実施した。

事業体系	1. 地域デザイン事業	1-1 環境経営モデル化支援事業
		1-2 人材育成事業（地域デザインスクール・2050年担い手塾）
		1-3 地域デザインガイドブック編集
	2. 財源・資源の開発	2-1 ファンドレイジング事業（助成金セミナー）
		2-2 人材育成事業（CSOラーニング制度）
	3. ネットワーク支援事業	3-1 グリーン購入推進事業
		3-2 ネットワーク支援事業
		3-3 IHHOE/CANPAN 協力事業
		3-4 情報交流会の開催
		3-5 瑞穂区ふれあいネットワーク事業（単年度）
		3-6 瑞穂区人権尊重のまちづくり事業（単年度）
	4. 情報提供事業	4-1 WEB事業（HP、DB、GIS）

1. 地域デザイン事業

持続可能な社会づくりを行う NPO、企業、行政、地域が協働して総合的な地域の理想像を描き、実現可能な目標を設定し実現していくことを戦略的に支援する事業

- 1-1 環境経営モデル化支援事業
- 1-2 人材育成事業（地域デザインスクール・2050 年担い手塾）
- 1-3 地域デザインガイドブック編集

1-1. 環境経営モデル支援事業

目的

環境と経営を同軸に捉えて販売事業を行っている企業をモデル化し、他企業へも普及する戦略研究を行う場をつくる。

実施概要

リコー中部㈱の環境活動グリーンプロモーションにおける、NPO への助成事業「エコひいき」に関して、エコひいき運営事務局（ ）の 1 団体として携わり、助成先団体選考会の運営・助成先団体へのヒアリング、リコー中部㈱社員へのヒアリング、またリコー中部と助成先団体の交流会開催に協力した。

2007 年度「エコひいき運営事務局」構成団体：環境省中部環境パートナーシップオフィス
NPO 法人コミュニティユースバンク momo
NPO 法人地域の未来・志援センター

< 1. エコひいき 2007 募集説明会 >

開催日時：2007 年 4 月 14 日（土）14:00～16:00pm 開催場所：ウィル愛知 会議室 6

主催：リコー中部㈱ 企画運営：エコひいき運営事務局

参加者：29 名 開催側・スタッフ：9 名

内容： 1. グリーンプロモーションエコひいきについての説明
2. 参加者自己紹介・エコひいきを使ってやりたいこと・実現したいこと
3. 過去の助成団体からの情報提供
4. 申請説明及び意見交換

< 2. エコひいき 2007 1 次選考会 >

開催日時：2007 年 5 月 8 日（火）13:30-17:30pm 開催場所：あいち NPO 交流プラザ会議室

主催：リコー中部㈱ 企画運営：エコひいき運営事務局

内容：48 団体の応募について 1 次選考項目について審査員による審査が行なわれた。1 次選考通過団体は 22 団体

< 3. エコひいき 2007 最終選考会 >

開催日時：2007 年 6 月 15 日（金）13:00-16:55pm 開催場所：あいち NPO 交流プラザ会議室

主催：リコー中部㈱ 企画運営：エコひいき運営事務局

内容：1 次選考を通過した 22 団体についての最終選考が審査員にて行なわれ、リコー中部㈱社員による投票「エコひいき投票」と合わせて吟味され、最終 10 団体が選考された。

< 4. エコひいき 2007 団体・社員へのヒアリング・活動参加 >

ヒアリング期間：11 月 16 日（金）～11 月 27 日（火）

内容：愛知県内の助成先団体の活動に参加、もしくは活動拠点に赴き、団体代表及び活動メンバーに、また愛知県内リコー中部㈱のいくつかの事業所に赴き社員に、エコひいきの取り組みについてヒアリング行なった。

日付	ヒアリング先	ヒアリング対象
11月16日(金)	リコー中部(株) 名西事業所	社員1名
11月16日(金)	リコー中部(株) 名東事業所	社員3名
11月18日(日)	なごや東山森づくりの会(愛知助成先団体)	代表及び事務局1名
11月19日(月)	リコー中部(株) 愛知事業所	社員1名 (エコひいき地域担当者)
11月21日(水)	あかばね塾(愛知助成先団体)	代表及び事務局2名
11月24日(土)	なごや東山森づくりの会	活動参加
11月27日(火)	リコー中部(株) 中央事業所	社員2名



11月24日(土)なごや東山森づくりの会の活動に参加するリコー中部(株)社員

< 5.エコひいき 2007 報告・経験交流会 >

開催日時：2008年2月25日(月)13:00-17:00pm 開催場所：あいちNPO交流プラザ会議室

主催：リコー中部(株) 企画運営：エコひいき運営事務局

内容：10月～11月に実施した、助成先団体及び社員へのヒアリング・アンケート調査を元に、社員と助成先団体、関係者にて問題課題点から今後について協議を行なった。

1. ヒアリング・アンケートから見えた問題提起
2. 問題提起をふまえて
3. エコひいきの仕組みをどうリメイクするか
4. まとめ



2月25日(月)報告・経験交流会
エコひいきの課題について話合うリコー中部(株)各地方事業所から出席の社員



協議結果を発表しNPOからの質問に答えるリコー中部(株)社員

1 - 2 . 人材育成事業 (地域デザインスクール・2050年担い手塾)

目的

どうすれば持続可能な社会を目指す取り組みができるか、また持続可能な社会とは何か。様々な視点で地域デザインに取り組む実践者を迎え、持続不可能な現状を認識して、持続可能な地域社会の地域デザインという概念を具現化する講座を行う。

実施概要

春期(4月~9月)は昨年秋期に引き続き、名古屋市主催のなごや環境大学の講座の一つとして、「地域デザインスクール」を開催し、地域の未来・志援センターが目指す持続可能な社会の地域デザインということについて講師・参加者と共に学び考える講座を行った。

秋期(11月~2月)は、同じくなごや環境大学の講座の一つとして中学生高校生向け環境学習講座「2050年担い手塾」を開催し、子ども達がCO2半減目標の2050年までの世の中を担う力をつけるための講座を行った。

< 1 . 講座『地域デザインスクール』の開催 >

開催日時：月1講座 6日間(合計6講座) 土曜日:13:30~16:30pm

主催：地域の未来・志援センター 2007年春期なごや環境大学共育講座として

場所：つながれっとNAGOYA 会議室 参加対象：一般・大学生

参加者数：表に記載

内容：表に記載

開催日	講師	講座タイトル	参加者数
1 4/21(土)	樹木・環境ネットワーク 洪澤寿一氏	地域デザインと地域再生 ~『鎮守の森』のライフスタイル~	42名
2 5/19(土)	地域総合研究所 門倉行秀氏	地方からの勇気ある撤退	19名
3 6/16(土)	ゲゼル研究会 森野榮一氏	地域自立のマネー学 ~自己完結度の高い地域経済空間 形成のために~	32名
4 7/21(土)	野菜茶業試験所 篠原信氏	自給自足は取り戻せるか? ~食糧から見る地域デザイン~	16名
5 8/18(土)	矢作川森の健康診断事務局 丹羽健二氏	流れに沿って暮らすこと ~流域からの地域デザイン~	6名
6 9/15(土)	名古屋大学大学院教育 発達科学研究科 牧野篤氏	地域デザインにおける若者の所在	18名



4月21日第1講座 洪澤寿一氏講演



7月21日第4講座篠原信氏を交えパネルディスカッション

< 1. 中学生・高校生向け講座『2050年担い手塾』の開催 >

開催日時：月1講座 4日間（合計4講座） 日曜日：13:00～16:00pm

主催：地域の未来・志援センター 2007年春期なごや環境大学共育講座として

協力：NPO法人愛・地球子どもクラブ、NPO法人森と水辺の技術研究会

場所：つながれっとNAGOYA 会議室、ウィルあいち 参加対象：中学生・高校生
大学生がグループファシリテーターとして協力参加。

参加者数：表に記載

内容：表に記載

開催日	講師	講座タイトル	参加者数
1 11/11(日)	名古屋大学大学院環境学 研究科 高野雅夫氏 駒宮博男氏	オリエンテーション ワークショップ セブアン・スズキの 伝説のスピーチに学ぶ	19名 中学5 高校14
2 12/16(日)	駒宮博男氏 井上淳之典氏	ワークショップ 『成長の限界』に学ぶ。	19名 中学4 高校15
3 1/27(日)	ICAN 斉藤順子さん 高野雅夫氏 井上淳之典氏	ICAN(アジア日本相互交流センター)紹介 ワークショップ 『世界がもしも100人 の村だったら』に学ぶ	21名 中学6 高校15
4 2/17(日)	高野雅夫氏 駒宮博男氏	ワークショップ まとめ・自分自身のテーマを持とう	10名 中学3 高校7



第1講座名古屋大学高野雅夫氏による講義



第2講座大学生ファシリテーターを中心にワークショップ



第3講座グループ毎にワークショップの結果を発表



第4講座自分のテーマについて一人ひとり発表

1 - 3 . 地域デザインガイドブック編集

目的

地域デザインの具体的な戦略と事例を示し、持続可能な地域社会のために活動する人の手引書となるガイドブックを作成する。

実施概要

地域デザインスクールに携わる理事はじめ、名古屋大学大学院環境学研究科高野雅夫教授と共に編集会議を開催。『地域デザインスクール』講座のまとめ。

< 1 . 『地域デザインスクール』2年間の講座まとめ >

内容：2005年秋期より2007年春期まで2年間開催の講座『地域デザインスクール』をまとめる作業。録音に不明瞭なものがあり来年度も引続き行う。

< 2 . ガイドブック編集会議 >

内容：2年間の『地域デザインスクール』で取り上げたテーマから地域デザインに必要な項目でガイドブックの目次立てを行った。来年度も引続き協議を行う。

2. 財源・資源の開発事業

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域が不足している財源・資源を開発・提供する事業

2-1 ファンドレイジング事業（助成金セミナー）

2-2 人材育成事業（CSOラーニング制度）

2-1. ファンドレイジング事業（助成セミナー）

目的

NPOの運営にとって活動の資金源の開発は重要である。NPOの活動について社会から資源・資金が提供される（ファンドレイジングされる）社会作りのために、地域におけるファンドレイズの素地作りを行う。

実施概要

12月8日の午後に『地域を活かす助成金セミナー：全国から中部から岐阜へ集合！！』を行った、このイベントは3部構成で行い、第1部は「財源・資源の開発事業」の活動の一環として助成金に関する「環境市民活動助成セミナー」を、第2部には参加者と助成機関の交流を目的とした「参加者・助成機関交流会」、第3部「NPOのファンドレイズはどうあるべきか」を行った。

「環境市民活動助成セミナー」では全国区及び東海三県にわたる助成機関に参加を呼びかけ、また来場者としても東海3県のNPO・行政・企業に参加を呼びかけることによって、開催当日だけでなく、開催に至る過程においても3県3セクターにわたって多くの新たなつながりと、昨年のセミナーで築いた関係性の継続、また今回は岐阜県内の12の中間支援団体の共催という形で行い、昨年以上に幅広い団体との連携により本セミナーを実施した。

< 1. 『「地域を活かす助成金セミナー」～全国から中部から岐阜へ集合！！～』 >

開催日時：平成19年12月8日（土）13:00-19:40pm

開催場所：岐阜県民ふれあい会館（岐阜市藪田南5丁目14-53）

主催：地域の未来・志援センター／セブン-イレブンみどりの基金

共催：いびNPO法人連絡協議会／NPO法人 いびがわミズみずエコステーション／
恵那市まちづくり市民協会／NPO法人 NPOなんでもサポートセンター岐阜／
NPO法人 大垣まちづくり市民活動支援会議／NPO法人 可児市NPO協会／
NPO法人ぎふNPOセンター／郡上市NPO法人連絡協議会／西濃環境NPOネットワーク／
NPO法人ソムニード／多治見市市民活動交流支援センター／NPO法人地球の未来
以上、12団体

後援：環境省中部地方環境事務所、岐阜県、愛知県、三重県、岐阜市

協力：環境省中部環境パートナーシップオフィス

参加者数：下記参照

内容・詳細：

項目	内容・詳細
(1) 第1部：「環境市民活動助成金セミナー」 13：30～16：00	
参加者数	第1部：31名（NPO：28名、企業：2名、行政：1名） （スタッフ・講師・関係者：18名、総参加者数：49名）
参加団体 助成団体名（11団体） （1）講師として参加 （5団体） （2）資料のみの参加 （6団体）	財団法人トヨタ財団（喜田様）／三井物産環境基金（田辺様）／セブン-イレブンみどりの基金（秋山様）／リコー中部株式会社（竹政様）／財団法人十六地域振興財団（水野様） 地球環境基金／TOTO 水環境基金／日野自動車グリーンファンド／あいちモリコロ基金／東海労働金庫（NPO 創業助成制度、NPO 寄付システム）／三重銀行（NPO サポートファンド）
環境市民団体名（24団体）	NPO 法人 犬山市民活動支援センターの会／山県市災害ボランティア・サポートセンター／NPO 岐阜環境カウンセラー協議会／NPO 法人 木つつ木倶楽部／NPO 法人 ドングリの会／NPO 法人 やすらぎの里いとしろ／ボランティアネイバース／ボラみみより情報局／NPO 法人 地域産業支援ネットワーク／NPO 東海自然学園／岐阜東洋文化振興会／NPO 法人 シニアベンチャークラブ・岐阜／環境と人のあり方を考える会／NPO 法人 わいわいハウス金華／ぎふママネット／NPO 法人 TEAM 笑美 S／NPO 法人 メタセコイヤの森の仲間たち／各務原 NPO 法人連絡協議会（竹林救援隊）／泉京垂井／NPO 法人 ピープルズコミュニティ／NPO 法人 K-ITシティーコンソーシアム／多治見市市民活動交流支援センター／中部異業種間リサイクルネットワーク／NPO 法人 まちづくり
企業・行政名（3団体）	株式会社 三重銀総研／岐阜リコー株式会社／環境省中部地方環境事務所
第2部：「参加者・助成機関交流会」 16：20～17：30	
参加者数	第2部：15名（NPO：14名、企業：1名、行政：0名） （スタッフ・講師・関係者：20名、総参加者数：35名）
参加団体 助成団体名（5団体）	財団法人トヨタ財団／三井物産環境基金／セブン-イレブンみどりの基金／リコー中部株式会社／財団法人十六地域振興財団
環境市民団体名（10団体）	NPO 法人 犬山市民活動支援センターの会／NPO 法人 木つつ木倶楽部／ボランティアネイバース／ボラみみより情報局／NPO 法人 シニアベンチャークラブ・岐阜／環境と人のあり方を考える会／ぎふママネット／各務原 NPO 法人連絡協議会（竹林救援隊）／泉京垂井／NPO 法人 ピープルズコミュニティ／NPO 法人 K-ITシティーコンソーシアム／中部異業種間リサイクルネットワーク
企業・行政名（1団体）	株式会社 三重銀総研
(3) 第3部：「NPO のファンドレイズはどうあるべきか」 18：00～19：40	
参加者数	第3部：25名（NPO：22名、企業：1名、行政：2名） （スタッフ・講師・関係者：18名、総参加者数：43名）

参加団体 助成団体名(4団体)	三井物産環境基金/セブン-イレブンみどりの基金/財団法人十六地域振興財団/ぎふNPOセンター
環境市民団体名(16団体)	NPO 法人 犬山市民活動支援センターの会/NPO岐阜環境カウンセラー協議会/NPO 法人 木つつ木倶楽部/NPO法人 やすらぎの里いとしる/ボランタリーネイバース/ボラみみより情報局/NPO 法人 地域産業支援ネットワーク/NPO法人 シニアベンチャークラブ・岐阜/環境と人のあり方を考える会/NPO法人 わいわいハウス金華/ぎふママネット/NPO法人 TEAM笑美S/NPO法人 メタセコイヤの森の仲間たち/各務原 NPO 法人連絡協議会(竹林救援隊)/NPO 法人 K-IT シティーコンソーシアム/中部異業種間リサイクルネットワーク
企業・行政名(2団体)	株式会社 三重銀総研/岐阜県環境生活部環境生活政策課



第1部:助成機関制度説明



第1部:質疑応答



第3部:制度紹介



第3部:パネル討論



助成金セミナーでの司会の様子(庄司)



助成金セミナーでの発表の様子(田中)

まとめ

意義：

【CSO側】

1. 学生に対して、直接「地域デザインの視点」を話することができる。
(環境問題の“そもそも”のところ)
2. インターン生を介して、広く他団体の学生や、大学内の学生とも繋がることことができる。
3. 1. 2. の連鎖で、学生の今後、環境問題を解決するクラスターとして、活躍することが期待できる。
4. 学生のニーズを知ることができる。(興味、考え方、価値感など)

【学生側】(インターン生へのヒアリングによる)

1. 環境についての表面的なものよりは少し深い知識、意識を持てる
2. NPOで働くという身近でない(教師、会社員、バイト先の人でない)人々の生き様を生で感じられる
3. 2.によって、自分の進路について見直せる機会を持てる
4. 1. 2. 3.によって、自己成長ができる

課題：

【CSO側】

1. 個々で、スキルに差があるので、マンパワーとしてカウントするには時間と手間がかかる。
2. このため、単年度で関係が途絶えると団体内としてはマイナスになる傾向が強い。
修了後も継続的な関係の構築が必要である。
3. 活動時間がインターン生の都合に左右されるので、マンパワーとしてカウントできない場合がある。

【学生側】(インターン生へのヒアリングによる)

1. 各団体の活動は理解が深まったが、「NPO」という組織についてよくわからず、同関わっていったらいいのかわからなかった。(他の組織でもきっとそうなのでしょうが・・・)
2. 勉学、インターン以外の課外活動との両立。
3. 財団の方と、NPOの方との関係が良くつかめなかった。(相談事など、どちらにしていいいかわからないときがあった)

損保側へ提案した事項

- ・新年度募集時期の前倒し(4月募集、5月下旬もしくは6月~の活動)
学生がインターンとして活動できる時期がテスト期間、長期休暇などによって制限される。
通常行われてきた5月募集、6月下旬のスタートの場合、ちょうど前期試験や夏休みと重なり、実質、本格的に活動に入れるのが9月、10月になり、団体の活動に慣れたころには修了(1月末)ということ

になり、マンパワーとして期待できる効果が弱い。募集時期を1ヶ月間早めてもらうことで、5月下旬、6月上旬から活動する体制ができるので、インターン生のマンパワーとしてより効果が大きくなることが期待できる

・制度修了、卒業のための最低消化時間の設定

現行の制度では、最低消化時間が設定がないため、活動時間数を消化してない場合でも、制度修了とすることができる。

これは、学生の都合（優先順位）によって、活動時間が決定されるため、受け入れ団体としては、業務遂行に障害がせる場合がある。このため、制度運営側で最低消化時間を設定してもらうことで、その部分の障害の解消をねらうものである。

その他：

本年の愛知地区の受け入れ団体は“藤前干潟を守る会”が加わり、昨年までの3団体（オイスカ中部、中部リサイクル運動市民の会、地域の未来・志援センター）から4団体になった。

本年度の愛知地区のインターン生は4団体合わせて12名でその出身大学と学年及び人数は愛知淑徳大学8名（1年女、2年女、3年女（5名））、中京大学1名（3年女）、名古屋大学1名（4年女）、南山大学1名（4年男）、三重大学2名（2年男、3年男）である、また団体ごとの内訳ではオイスカ中部が4名（愛知淑徳大学1年女、2年女、3年女、名古屋大学4年女）、中部リサイクル運動市民の会が4名（愛知淑徳大学3年女）、藤前干潟を守る会が2名（南山大学4年男、三重大学2年男）、地域の未来・志援センターが2名（三重大3年男、中京大学3年女）であった。

全体では宮城地区名（男：名、女：名）、関東地区名（男：名、女：名）、愛知地区名（男：名、女：名）、関西地区名（男：名、女：名）の計名が2007年度の損保ジャパンCSOラーニング制度を用いて環境NPOでインターン経験を積んだ。

課題：

愛知地区の本年度の傾向としては、12名中、7名が愛知淑徳大学の学生であった。

また、過去2004年からの修了生の在籍した大学は以下の表のとおりである。

2004年からの修了生が在籍した大学をみると、愛知淑徳大学生が多いことがわかる、また年度によってもばらつきがある。当団体のインターン生は愛知淑徳大学1名（女）、中京大学1名（女）、三重大学2名（男）だった。2008年度は地域の未来・志援センターとして、大学生のつながりを作るため（地域資源の開拓）損保の募集に協力し、名古屋市などが運営の協力をしている組織、なごやユニバーサルエコユニット、エコネクスなごや、WeLoveNAGOYAなどのインカレに働きかけ、広く公募し、地域資源の発掘、大学側のボランティア担当課などがあればその担当とのつながりをつくる。

	2004年度生(7)	2005年度生(13)	2006年度生(7)	2007年度生(12)	合計(39)
愛知県	愛知淑徳大学(5)	<u>愛知淑徳大学(1)</u>	愛知淑徳大学(3)	愛知淑徳大学(7)	愛知淑徳大学(16)
		愛知大学(2)			愛知大学(2)
	愛知学院大学(1)				愛知学院大学(1)
		<u>中京大学(1)</u>	中京大学(1)	<u>中京大学(1)</u>	中京大学(3)
		名古屋大学(1)		名古屋大学(1)	名古屋大学(2)
		名古屋外国語大学(1)			名古屋外国語大学(1)
				南山大学(1)	南山大学(1)
		人間環境大学(1)	人間環境大学(1)		人間環境大学(2)
		名城大学(1)			名城大学(1)
岐阜県	岐阜大学(1)				岐阜大学(1)
三重県		三重大学(5)	<u>三重大学(2)</u>	<u>三重大学(2)</u>	三重大学(9)

()は人数 波下線は当団体のインターン

3 . ネットワーク支援事業

持続可能な社会づくりを行うNPO、企業、行政、地域が抱えている様々な課題に対して、お互いに支援し合えるネットワークづくりを支援・促進する事業。

- 3-1 グリーン購入推進事業
- 3-2 ネットワーク支援事業
- 3-3 IHOE/CANPAN 協力事業
- 3-4 情報交流会の開催
- 3-5 瑞穂区ふれあいネットワーク事業（単年度）
- 3-6 瑞穂区人権尊重のまちづくり事業（単年度）

3 - 1 . グリーン購入推進事業

目的

グリーン購入促進活動を通して、東海3県1市のNPO、企業、行政のネットワーク作りを目的とする。

実施概要

平成18年度にイオン千種店で東海三県一市グリーン購入キャンペーンの一環で実施したNPO、企業、行政の協働企画、【地球にやさしい買い物探検隊】（第9回グリーン購入大賞（行政部門、東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会）を獲得）を実施した流れから、環境デーなごや2007実行委員会からの声かけで、大須商店街のエコなお店を集めた「大須エコマップ」の発行に合わせたイベントを実施（企画・運営）をした。このイベントはマップを市民が使うことでグリーン購入の促進を狙うものである。

（このイベントをきっかけにして、これに参加した大学生が中心となり名古屋市を中心市街地である栄で2R（リデュース・リユース）に取り組んでいるお店を集めた、OSHRECO栄2Rマップ」（全国大学生環境活動コンテスト4位入賞）を作成した。この動きが行政、企業、NPO、市民の新しい連携の動きを生み出しつつある。【組織運営支援：地域の未来・志援センター】）

< 1 . 『「大須へエコみゃー歩こみゃー」まち歩きワークショップ<2007春>』 >

項目	内容・詳細
開催日	平成19年6月2日（土）PM13:30～PM16:30
会場	名古屋市リサイクル推進センター （中区大須四丁目11番15号先地下鉄上前津地下街）
イベント名	「大須へエコみゃー歩こみゃー」まち歩きワークショップ
スケジュール （会当日）	13:00 受付開始 13:20 集合（名札作成、アンケート（事前）の記入） 13:30 - 13:40 開始・あいさつ（資料確認、趣旨説明、ポイントラリー） 13:40 - 13:55 チーム内で打合せ（自己紹介、エコBINGO、ルート確認） 13:55 - 14:55 大須まち歩き 14:45 - 16:10 壁新聞作成等（壁新聞の作成、アンケート（事後）記入） 16:10 - 16:30 発表・まとめ 16:30 終了・解散
主催	環境デーなごや2007実行委員会
企画・運営	NPO法人 地域の未来・志援センター
参加者	17名



6月2日ワークショップ:自己紹介の様子



大須まち歩きの様子

3 - 2 . ネットワーク支援事業

目的

NPO・行政・企業の志を応援する取組みを行う。

実施概要

サステナブル経営研究会と共に環境省のCSR調査に協力し、地域の企業とNPOの協働状況についてのアンケート調査・ヒアリング調査、またセミナー開催に協力し、地域のCSR推進の場作りを行なった。

< 1 . 企業とNPOの協働に関するアンケート調査 >

「CSR活動に関するアンケート調査」

調査対象：企業・コーディネート機関・NPOへのアンケート調査について、コーディネート機関・NPOへの調査に協力。

- 1 . 中部地区のコーディネート機関（NPO支援センター・中間支援NPO等）= 8団体
- 2 . 中部地区のNPO = 10団体

調査内容：NPOと企業の協働に関し6項目についての質問。

< 2 . 企業とNPOの協働によるCSR推進事例ヒアリング調査 >

「CSR協働プロジェクト事例」調査

調査対象：13事例の調査のうち1事例のヒアリング調査及び調査報告を担当。

担当事例：三重県四日市市 三重銀行 と NPO 法人四日市創造ネットワーク
「地域貢献活動サポート定期預金『Jマネー定期』事業」

< 3 . 環境保全・CSR活動普及セミナー

～この地域に求められるCSR拠点（プラットフォーム）とは？ >

開催日時：2008年2月29日（金）13:30-15:15pm 開催場所：名古屋国際ホテル 会議室

主催：環境省中部地方環境事務所 企画/運営：社団法人地域問題研究所、サステナブル経営研究会

協力：愛知中小企業家同友会、地域の未来・志援センター

参加者数：27名（セクター：企業10・NPO5・行政4・大学3・その他5）

内容：1 . 協働の事例調査紹介・企業とNPOの意向

（株）三重銀行の取組み - 地域貢献活動サポートファンド『Jマネー定期』

地域を巻き込んだSR活動に対する企業/NPOの意向について

2. SRを進めていく上で、他セクターと協働の可能性を探る
3. この地域に求められるCSR拠点（プラットフォーム）とは？



2月29日セミナー：企業の意向発表



企業・NPOによるパネル討論

3 - 3 . IIHOE / CANPAN 協力事業

目的

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]が行う協働環境調査・NPOの情報開示・CSRに関する調査セミナーについて地域における開催協力を行い、この地域の自治体とNPOの協働環境について、またCSRについて調査し推進する。

実施概要

地域のCSRの推進について：CANPAN CSR大賞2007に地域ノミネート企業3社を地域より推薦、3社のヒアリング及び報告、セミナーを開催。また、SRの世界規格となるISO26000策定についての最新動向の説明会を開催した。

自治体とNPOの協働の推進について：IIHOE独自事業の「都道府県、主要市における自治体とNPOの協働環境調査」調査に協力。

< 1. CANPAN CSR大賞2007 地域企業3社をノミネート推薦 >

CANPANが開催した第1回CSR大賞に地域推薦として愛知・岐阜・三重から1社ずつを推薦、訪問・ヒアリングを行いノミネート候補とした。ノミネートされた3社は、東証一部上場企業15社と地域推薦企業18社の計33社の中から市民のインターネットからの投票で16位・17位・24位を獲得。地域からの推薦企業：(株)リバイブ（愛知）・(株)コミュニティタクシー（岐阜）・(株)尾鍋組（三重）

< 2. 『地域の中小企業のためのCSRセミナー』開催 >

開催日時：2007年8月28日（火）14:00-17:10pm 開催場所：東桜会館 集会室

主催：地域の未来・志援センター 地域協力：サステナブル経営研究会

協力：日本財団公益コミュニティサイトCANPAN、ダイバーシティ研究所

後援：環境省中部地方環境事務所、愛知中小企業家同友会、名古屋市中小企業振興センター

参加者数：25名（企業12・NPO11・行政2）

内容：1. 基調発題「今、地域の中小企業がCSRに取り組むということ」

田村太郎氏（ダイバーシティ研究所）

2. 基調報告「地元企業のCSRとサステナブルな経営～環境省06年度調査より～」

3. 地元企業の取組み事例紹介3社

4. パネル討論

5. 日本財団コミュニティサイトCANPANの紹介

6. 「中小企業の社会的責任への取り組みについて」
関正雄氏（株損害保険ジャパン CSR）.環境推進室長）



8月28日セミナー:企業事例紹介



パネル討論

< 3. ISO26000最新動向説明会 >

開催日時：2007年8月28日（火）18:45-20:50pm 開催場所：東桜会館 集会室

主催：地域の未来・志援センター

協力：日本財団公益コミュニティサイト CANPAN、ダイバーシティ研究所

参加者数：22名（企業8・NPO11・行政3・学生1）

内容：1. ISO26000最新動向について

2. 会場からの質疑にパネル討論で回答



8月28日セミナー:関氏講演



パネル討論

地域の中小企業のためのCSRセミナー

CSR (Corporate Social Responsibility) : 企業の社会的責任 という言葉が世の中に広がっています。これからは大手企業だけでなく中小企業もCSRへの取り組みが求められています。では、大手企業と同じようなCSR活動を行わなければならないのでしょうか？地元企業3社の地域における取り組みをご紹介します。また、ISO26000 (SR:社会的責任) 規格づくりの日本産業界代表エキスパートを務められている株式会社協賛保険ジャパンの関正雄氏に中小企業のSRへの取り組みについてお話をいただきます。

開催日 2007年8月28日(火)
時間 14:00-17:10 (13:30受付開始)
場所 東経会館(名古屋市中区)1階 集客室
 ※東経会館東山ビル「新築」駅①南出口より徒歩5分、
 桜通線「高岳」駅②南出口より徒歩5分
対象者 CSRに関心のある、取り組みとして
 中小企業の経営者・担当者
定員 60名(申込み先着順)
参加費 3,000円/1名
申込み テラシ下記申込書を FAX もしくは E-mail に
 て地域の未来・志援センターまで。

地元企業の取り組み紹介

【岐阜県】
 尾崎賢也氏
 株式会社協賛保険
 代表取締役

【三重県】
 尾崎賢也氏
 株式会社協賛保険
 代表取締役

【愛知県】
 尾崎賢也氏
 株式会社協賛保険
 代表取締役

プログラム
 14:00 ◎開場挨拶 萩原善之 (NPO法人地域の未来・志援センター理事長)
 ◎基礎知識「4、地域の中小企業がCSRに取り組むということ」
 田村元太郎氏 (ダイバーシティ研究所)
 14:30 ◎基礎知識「地元企業のCSRとサステナブルな経営」
 ◎基礎知識「環境省 06年度調査より」
 村松元夫氏 (サステナブル経営研究会)
 14:40 ◎地元企業の取り組み事例紹介3社
 【岐阜県】 尾崎賢也氏 (株式会社協賛保険 代表取締役)
 【三重県】 尾崎賢也氏 (株式会社協賛保険 代表取締役)
 【愛知県】 尾崎賢也氏 (株式会社協賛保険 代表取締役)
 ◎パネル討論
 「この東海地域で中小企業がCSRを推進するためには」
 コーディネーター 村松元夫氏
 パネリスト 萩原善之氏 (NPO法人地域の未来・志援センター理事長)
 加藤啓介氏 (サステナブル経営研究会)
 萩原善之氏 (地域の未来・志援センター)
 ◎日本財団公益コミュニティサイト CAMPAN プラザのご紹介
 16:30 ◎「中小企業の社会的責任への取り組みについて」
 関正雄氏
 (株式会社協賛保険ジャパン CSR・環境推進室長)

主催 NPO法人 地域の未来・志援センター
地域協力 サステナブル経営研究会
協力 日本財団公益コミュニティサイト CAMPAN
ダイバーシティ研究所
後援 環境省中部地方環境事務所
 愛知中小企業家同友会
 名古屋市中企業振興センター

お問い合わせ先
NPO法人 地域の未来・志援センター
 (いしきのあらい・しんせんたん)
 〒460-0014 名古屋市中区高辻9-16 有徳ビル2階
 TEL: 052-331-6141 (月-金 10:00-18:00)
 FAX: 052-339-5851 E-mail: office@o-miral.org
 ホームページ: <http://www.o-miral.org/>

ISO26000最新動向説明会

2009年に発行の見通しとなっているISO26000は、企業だけでなくすべての組織が対象となるSR(社会的責任)に関する国際規格です。ISO26000(SR:社会的責任)規格づくりの日本産業界代表エキスパートを務められている株式会社協賛保険ジャパンの関正雄氏に、最新動向をお話頂きます。

開催日 2007年8月28日(火)
時間 18:45-20:45 (18:30受付開始)
場所 東経会館(名古屋市中区)1階 集客室
 ※東経会館東山ビル「新築」駅①南出口より徒歩5分、
 桜通線「高岳」駅②南出口より徒歩5分
対象者 ISO26000に関心のあるNPO、
 企業、行政機関、学校機関、その他組織の
 代表者・担当者
定員 60名(申込み先着順)
参加費 1,000円/1名
申込み テラシ下記申込書を FAX もしくは E-mail に
 て地域の未来・志援センターまで。

講師紹介
株式会社協賛保険ジャパン CSR・環境推進室長
関正雄(せき まさお)氏
 1976年4月安田火災海上保険(現・協賛ジャパン)入社。
 システム企画、社長室、営業開発第一、近畿総務管理を経て
 2001年4月地球環境部へ。
 2003年7月コーポレートコミュニケーション企画部社会・環境推進室に異動。
 2003年12月CSR・環境推進室に名称変更、現在に至る。
 CSR国内標準化委員会委員(経済産業省)、「環境と経済の好循環」専門委員会委員(環境省)、日本経団連「社会的責任経営部会」ワーキンググループ委員、ISO26000(SR)社会的責任「規格づくり」の日本産業界代表エキスパートなどを歴任。

プログラム
 18:45 ◎開場挨拶 萩原善之 (NPO法人地域の未来・志援センター理事長)
 18:50 ◎「ISO26000の最新動向について」
 関正雄氏 (株式会社協賛保険ジャパン CSR・環境推進室長)
 20:10 ◎会場からの質疑にパネル形式で応答
 コーディネーター: 田村元太郎氏 (ダイバーシティ研究所)
 パネリスト: 関正雄氏 (株式会社協賛保険ジャパン CSR・環境推進室長)
 萩原善之 (地域の未来・志援センター 理事長)

主催 NPO法人 地域の未来・志援センター
協力 日本財団公益コミュニティサイト CAMPAN
ダイバーシティ研究所

お問い合わせ先
NPO法人 地域の未来・志援センター
 〒460-0014 名古屋市中区高辻9-16 有徳ビル2階
 TEL: 052-331-6141 (月-金 10:00-18:00)
 FAX: 052-339-5851 E-mail: office@o-miral.org
 ホームページ: <http://www.o-miral.org/>



< 4 . IIHOE 「第3回都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査」協力 >

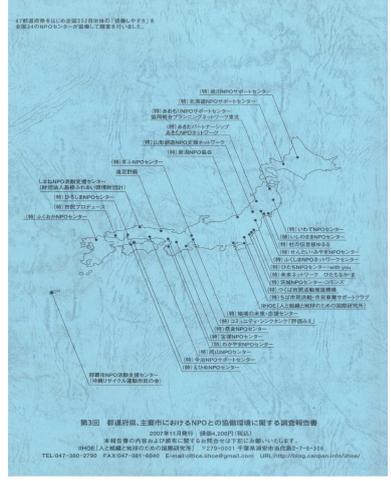
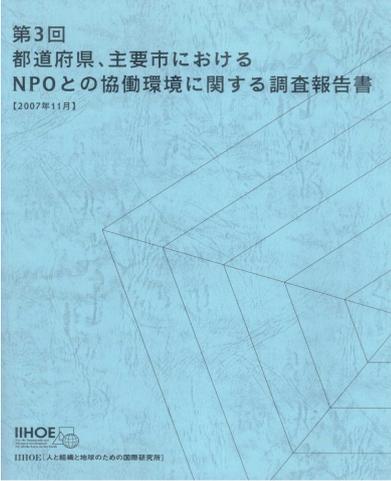
2004年からIIHOEが独自で毎年調査を続けている本調査について、IIHOEより地域の未来・志援センターに地域調査への協力の呼びかけがあり、地域の未来・志援センターにて愛知県分を、また岐阜県分についてはNPO法人ぎふNPOセンターに、三重県分についてはNPO法人コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」に地域の未来・志援センターより調査参加を呼びかけ、3団体で各県を担当し調査を行なった。

IIHOEは3回目となる今年、全国252の自治体について33のNPO支援センターに協力を得て調査を行なった。そのうち愛知10自治体を地域の未来・志援センターにて、岐阜4自治体をぎふNPOセンターにて、三重4自治体をコミュニティ・シンクタンク「評価みえ」にて担当。

- 本地域(東海3県)における調査対象自治体:
- 愛知県 = 愛知県・名古屋市・一宮市・春日井市・豊田市・岡崎市・豊橋市・犬山市・刈谷市・安城市
 - 岐阜県 = 岐阜県・岐阜市・大垣市・各務原市
 - 三重県 = 三重県・津市・四日市市・鈴鹿市

調査方法: 自治体ホームページより協働についての情報公開度を調査し、自治体の協働担当課と確認の上結果をまとめる。結果をIIHOEが指標に基づいて7段階(0~7点)の評価が行なわれた。

報告書: 報告書としてまとめられ、11月に発刊された。1冊4,200円。



報告書冊子(表)

(裏)協力した全国33のNPOセンターが記載されている。

< 5 .「自治体とNPOの協働環境調査」報告会 開催 >

開催日時：2008年3月5日（水）13:30-16:40pm 開催場所：あいちNPO交流プラザ 会議室

主催：地域の未来・志援センター

共催：IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 協力：日本財団 後援：愛知県

参加者数：17名（セクター内訳：行政6・NPO市民7・企業3・学生1）

（地域内訳：愛知10・岐阜3・三重4）

- 内容：1．解説「第3回協働環境調査から見えてきたこと」川北秀人氏（IIHOE）
2．日本財団公益コミュニティサイトCANPANの紹介 木田悟史氏（日本財団）
3．参加者の質疑に回答をパネルディスカッション 川北氏・萩原理事長



3月5日報告会



参加者質疑

3 - 4 . 情報交流会の開催

目的

情報交流会の開催を通じて交流の場を作り・ネットワーク形成を図る。

実施概要

2008年3月23日（日）に開催

< 1 .『「地域（まち）・環境サミット in 高山 2008」～まちづくり団体協働イベント～』 >

開催日時：平成20年3月23日（日）13:30-17:20pm

開催場所：世界生活文化センター（岐阜県高山市千島町900-1）

主催：NPO法人 地域の未来・志援センター、セブン-イレブンみどりの基金、指定管理者 飛騨コンソーシアム、高山ロータリークラブ、高山西ロータリークラブ、高山中央ロータリークラブ

後援：環境省中部地方環境事務所、岐阜県、愛知県、三重県、高山市、飛騨市、下呂市、白川村

協力：NPO法人ソムニード、親子ふれあい塾、飛騨地域活性化推進協議会、ひだ夢ねっと（まちづくり市民団体協議会）

3 - 5 . 瑞穂区ふれあいネットワーク事業 (単年度)

目的

既存の地域通貨のシステムが再構築できるように、例年行われている、地域通貨に関連した区内のイベントを通じて、それに関係するセクター（地域通貨みずほの会、瑞穂区役所、商店街、自治組織、大学、高校など）をつなぎ、問題提起し、協働の場を設けて、問題解決へと導く仕掛けをつくる。

実施概要

地域通貨のかたちを再考するため、“地域通貨みずほの会”の今までの活動を振り返り、今後の活動の方向性などを月1回のワークショップを通じて行い、問題点、課題を上げ、それを解決するためのツールとして、“瑞穂区人権尊重のまちづくり事業”である「心がふれあうマップづくり」を通じて、地域と連携し、地域に“地域通貨みずほの会”の存在と活動の趣旨を伝え、理解者、会員の獲得をねらった。

< 1 . 「地域通貨みずほの会」ワークショップの開催 >

開催日	項目	参加者数
第1回 5月21日(月)	1 会の活動の振り返りと確認 (1)目的・目標 (2)「主な活動」と「活動から学んだこと」 2 会についての“想い”を語ろう (1)どんな会にしていきたい？	11名 会員7 区役所3 当方1
第2回 6月20日(水)	1 『どうして会員が増えないの？』 2 みずほの会に誘いたい人は具体的にどんな人？(年齢、性別、職業など)	10名 会員7 区役所2 当方1
第3回 9月12日(水)	1 この地域にはどんな人がいる？ 2 連携、協力をお願いしたいところ (上記からの絞込み) 3 その人たちにはどんなアプローチをすれば？	11名 会員7 区役所3 当方1
第4回 10月17日(水)	1 まち歩きワークショップについて (1)ワークショップの概要、名称 (2)呼びかけ、個別訪問の対象者 (3)まちあるきの対象	10名 会員6 区役所3 当方1
第5回 11月30日(金)	1 2/2(土)グリーンマップまち歩きについて まちあるきワークショップスケジュール 広報なごやへの広報文 定員について その他 2 ヒアリングの振りかえり(情報共有)	10名 会員6 区役所3 当方1
第6回 12月26日(水)	1 まちあるきWSの実施体制 2 まち歩きワークショップのテーマ、何を載せるか？	10名 会員6 区役所3

	3 マップの範囲 4 当日主催者、運営側人数&ワークショップの呼びかけ先 5 まちあるき WS 当日スケジュール(案)	当方 1
第7回 1月25日(金)	1 当日参加者の確認 2 スケジュール 3 まちあるきについて 4 壁新聞について	10名 会員 6 区役所 3 当方 1
第8回 2月15日(金)	1 まちあるきの振り返り 2 まとめ作業(各グループごとで) 3 マップ化について	9名 会員 6 区役所 2 当方 1
第9回 3月6日(金)	1 マップ表題(案)、基本情報(案)など 2 まわれなかったところの対応について 3 今回まとめた調査票をもとに、マップにのせるお店、のせないお店を決定	10名 会員 6 区役所 3 当方 1



ワークショップの様子



ワークショップの様子

3 - 6 . 瑞穂区人権尊重のまちづくり事業(単年度)

目的

名古屋市瑞穂区内の地域の魅力、特に古くからの街並みの雁道地域の商店街、市場にある、“心がふれあう・人にやさしい”場所を可視化するためにグリーンマップをツールにして、当団体が地域で活動している市民団体“地域通貨みずほの会”と瑞穂区役所と連携することで多くの商店街に関係するセクター(区役所、商店街組合、地域の自治組織、地域の大学・高校など)を巻き込み、マップ作りを通して地域のつながりの再構築のきっかけにする。

実施概要

平成20年2月2日に“心がふれあう・人にやさしい”場所を探す、「心がふれあうマップづくり」まち歩きワークショップを実施。そのワークショップに向けて、地域の女性会、町内会、老人会、大学、高校、商店街組合、振興会などに声をかけ、マップのコンセプトづくりのためのヒアリングを

行い、ワークショップへの参加を呼びかけた。マップが完成した後は再度ワークショップを行い、地域の連携の強化につなげる。

< 1. 「心がふれあうマップづくり」まち歩きワークショップの実施 >

項目	内容・詳細
開催日	平成 20 年 2 月 2 日 (土) AM10:00 ~ PM15:30
会場	雁道商店街ふれ愛センター(瑞穂区雁道町 1-10)
イベント名	「心がふれあうマップづくり」まち歩きワークショップ
参加者数及び内訳	33 名 <ul style="list-style-type: none"> ・市民 5 名 ・女性会 (会長 1 名、会員 1 名) 2 名 ・町内会 (会長) 1 名 ・郵便局長 1 名 ・包括支援センター職員 1 名 ・コミュニティーセンター管理人 1 名 ・教職員 (高蔵高校) 1 名 ・大学生 (柳城短期大学 1 名、愛知淑徳大学 2 名) 3 名 ・高校生 (高蔵高校 生徒会部) 6 名 ・小学生 1 名 ・地域通貨みずほの会 会員 7 名 ・瑞穂区役所職員 3 名 ・地域の未来・志援センター 1 名
スケジュール (会当日)	09:30-10:00 (30分) 【受付】 10:00-10:30 (30分) 【開会】(開会のあいさつ、今日の流れと説明) 10:30-10:50 (20分) 【グループ毎の打合せ】 (グループ内で自己紹介、ルートと役割の決定) 10:50-12:20 (90分) 【まちあるき】(15店~20店舗) 12:20-13:00 (40分) 【昼休み】 13:00-14:30 (90分) 【壁新聞の作成】 14:30-15:20 (50分) 【グループごとでの発表】 15:20-15:30 (10分) 【閉会】
主催	地域通貨みずほの会
共催	瑞穂区役所まちづくり推進室 NPO 法人 地域の未来・志援センター
企画・運営	NPO 法人 地域の未来・志援センター
協力	雁ぶら物語



2月2日まちあるき様子



参加者の集合写真



平成 20 年 2 月 18 日 中日新聞(朝刊)

参加費無料

**「心がふれあうマップづくり」
まち歩きワークショップ参加者募集!**

地域通達みずほの会では推進地域周辺で「心がふれあう・人にやさしい」
場所を紹介するマップの作成を企画しています。
場所を紹介するマップの作成を企画しています。
「心がふれあうマップづくり」のため、推進地域周辺を歩き、
「心がふれあう・人にやさしい」場所の情報をわたしたちと一緒に集めませんか。

日時：2008年2月2日(土)
AM10:00~PM15:30
(受付 9:30~、雨天決行)
場所：産道商店街ふれあいセンター
(瑞穂区雁道町1-10)

応募資格：小学生~大人まで、親子、友人同士の参加OKです。
募集人数：20名 ★先着順★★
応募方法：電話もしくはFAX(住所、氏名、電話番号を記載)で
下記の推進室へ直接申し込みください。
持ち物：服装、お茶、筆記用具

お申し込み、お問合せ先：
〒467-8531 名古屋市瑞穂区瑞穂通3-32
瑞穂区役所まちづくり推進室
「心がふれあうマップづくり」係
TEL:052-852-9303/FAX:052-852-9306

※個人情報は集められた方の同意なしに第三者に提供を致しません。(法令等により開示を求められた場合は除く)

受付期間:2008年1月11日(金)~1月31日(木)

主催：地域通達みずほの会
共催：瑞穂区役所まちづくり推進室
NPO法人 地域の未来・志援センター

ワークショップのチラシ

4 . 情報提供事業

持続可能な社会づくりを行う NPO、企業、行政、地域の情報の収集と発信に関する事業

4-1 WEB事業 (HP、DB、GIS)

4 - 1 . WEB 事業

目的

地域を担う市民 (NPO 等) のネットワーク化並びに市民が必要な情報提供を意識した情報の受発信を行う。

実施内容

今年度は昨年 18 年度にリニューアル (フォーマット) した HP をベースに、コンテンツを盛り込む作業を行った。狙いとしては、対外的に団体が何をやっている団体なのか、どのような理念、目的、運営体制で活動しているのかがわかるように、【当団体の紹介】【活動内容】の項目をつくり、団体の理念、定款などや、事業ごとに過去に実施した業務 DATA を盛り込み、HP の充実を図った。

HP 上でイベントやセミナー、助成金情報の提供はもちろんのこと、メーリングリストを使つてのメールニュースの発信やブログ機能を用いて種々の情報の提供をおこなった。

発信した日時とそのタイトルを以下にまとめる。

内容：

日付	タイトル
メールニュース (全 14 件)	
07/04/03	【ご案内】リコー中部グループ『グリーンプロモーション エコひいき 2007』募集開始！
07/05/28	【ご案内】セブン-イレブンみどりの基金『第 10 回環境ボランティアリーダー海外研修』募集！
07/07/03	地域の未来・志援センター メールニュース 2007 年 7 月 3 日発行
07/07/17	【ご案内】「なごや環境塾 2007」受講生募集！
07/09/21	【ご案内】「ふるさと清掃運動会」～環境アクション 2007～
07/11/12	地域の未来・志援センター ニュース 2007 年 11 月 12 日発行
07/11/13	12/8 (土)『助成金セミナー』(開催場所：岐阜市)のご案内
07/11/27	『助成金セミナー』のご案内、12/8 (土)(開催場所：岐阜市)
07/12/07	明日の『助成金セミナー』、当日参加可能です。
08/01/22	【お知らせ】締め切り迫る！セブン-イレブンみどりの基金 2008 年度『公募助成』
08/02/19	【ご案内】3 月 22 日 (土)「森の健康診断 WEB - GIS 体験お披露」
08/02/22	【お知らせ】2008 年全労済地域貢献助成事業募集 (4 月 10 日締切)
08/02/25	地域の未来・志援センター ニュース 2008 年 2 月 22 日発行
08/03/18	3/23 (日) 高山でのイベントのご案内 (名古屋駅から無料バスあり)
ブログ (34 件)	
環境 NPO 助成情報 (16 件)	

07/04/02	コミュニティ・ユース・バンク momo 第1回融資申し込みの受付開始のお知らせ
07/04/03	リコー中部グループ「グリーンプロモーション エコひいき 2007」募集開始!
07/04/04	「損保ジャパン CSO ラーニング制度 2007年度インターン生募集」のお知らせ!
07/05/01	2007年『TOTO水環境基金』助成団体を募集
07/06/28	Panasonic NPO サポートファンド公募のお知らせ
07/06/29	岐阜県地球温暖化防止支援銀行(G-Ecoバンク)助成金のお知らせ
07/07/01	共生・地域文化大賞のお知らせ(7月20日締切)
07/07/02	公益信託ぎふNPOはつらつファンド平成19年度後期事業助成募集中!
07/07/03	第5回パートナーシップ大賞のお知らせ(8月15日締切)
07/07/04	第5回MPドリーム助成先募集のお知らせ(8月20日締切)
07/07/05	「2007年度日野自動車グリーンファンド助成」のお知らせ(7月31日締切)
07/07/05	「公益信託大成建設自然・歴史環境基金」のお知らせ(7月31日締切)
07/07/05	(株)三重銀行「NPOサポートファンド」
07/11/10	セブン-イレブンみどりの基金2008年度『公募助成』のお知らせ(1月31日締切)
07/12/28	助成金セミナー、講師説明資料アップしました!
08/02/25	2008年 全労済 地域貢献助成事業 募集のお知らせ(4月10日締切)

環境活動情報(14件)	
07/05/25	第10回環境ボランティアリーダー海外研修募集
07/06/22	7/3〆切、「記念日植樹券プレゼント2007」のご案内
07/08/15	8/28(火)午後『地域の中小企業のためのCSRセミナー』開催
07/08/16	8/28(火)夜『ISO26000最新動向説明会』開催
07/09/19	「ふるさと清掃運動会」～環境アクション2007～
07/09/20	10/6,10/7『環境NPO・ボランティア団体リーダー育成セミナー』環境活動情報
07/11/08	エコハウスな暮らし方交流会
07/11/12	12月22日(土)にeco-T環境市民フォーラムを開催します。
07/11/13	12/8(土)開催!『地域を活かす助成金セミナー』
07/11/25	『地域を活かす助成金セミナー』第1部(詳細)
07/11/26	『地域を活かす助成金セミナー』第2部(詳細)
07/11/27	『地域を活かす助成金セミナー』第3部(詳細)
08/01/28	2月17日(日)「貴重な自然 観察ツアー」
08/02/19	3月22日(土)「森の健康診断WEB-GIS体験お披露目会」

地域デザイン情報(4件)	
07/04/23	門倉行秀講師による「地域デザインスクール」5/19(土)13:30~
07/05/28	森野栄一講師による「地域デザインスクール」6/16(土)13:30~
07/06/18	【変更になりました!】7/21(土)は篠原信講師による「地域デザインスクール」
07/07/23	8/18(土)は丹羽健司講師による「地域デザインスクール」8/19(土)13:30~

課題

来年度はメールニュースの配信先を充実すべく、過去のセミナー、イベントなどで知り合った方々の名刺をDATABASE化し配信先の充実を図る。

また、HP上に助成機関の一覧表および地域デザインに関する情報(書籍や人物など)を盛り込むのと同時に、運営体制の項目においても理事等のプロフィール及び写真などを盛り込み、団体の情報発信を充実させていく。

(イ) その他の事業(特定非営利活動に係らない事業)

なし